

アクセス Access

● 横浜国立大学（常盤台キャンパス）

バス（横浜駅西口）		
横浜市営バス	11番	202系統・循環外回り （横浜新道又は岡沢町下車）
	14番	201系統・循環内回り、 急行329系統横浜駅西口行 （岡沢町・横浜新道又はキャンパス内 各バス停*下車）
相鉄バス	9番	浜11系統・上星川駅行、釜台住宅第3行 （ひじりが丘又は釜台住宅第1・第2下車）
	10番	浜5系統・交通裁判所経由横浜駅西口行 （岡沢町下車）
相鉄バス	10番	浜10系統・横浜駅西口行 （岡沢町・横浜新道又はキャンパス内 各バス停*下車）
	13番	01系統・中山駅行 （岡沢町又は横浜新道下車）
鉄道		
相模鉄道	和町駅下車（徒歩20分）	
横浜市営地下鉄	三ツ沢上町駅下車（徒歩16分）	
相鉄・JR直通線	羽沢横浜国大駅下車（徒歩15分） ※キャンパス内へのバスの乗入れは平日のみ	

● キャンパス内各図書館配置（右図）

S3-6	中央図書館
N4-1	社会科学系研究図書館（経済学部1号館2階） ※入館は学内者のみ可能（中央図書館で要手続）



横浜国立大学附属図書館概要 YNU Library Profile 2025

組織図

（2025年6月1日現在）



横浜国立大学附属図書館概要2025 2025年7月発行
国立大学法人横浜国立大学附属図書館 〒240-8501 横浜市内保土ヶ谷区常盤台79番地6号
電話 (045)339-3204 <http://www.lib.ynu.ac.jp>



一人と情報の出合いを演出する
多機能文化空間



横浜国立大学附属図書館は、中央図書館及び社会科学系研究図書館の2館からなり、快適な学習環境の提供と各種資料の収集整理を通じて、本学の教育研究活動をサポートしています。



施設・設備

中央図書館は、学生が議論しながら学習できる場所であるグループ学習エリアやワーキングスタジオをはじめ、イベント用のホール、軽飲食のできるカフェ、卒業制作等の展示に使用可能な情報ラウンジ、映像資料等視聴用のAVブースを備え、従来の図書館の枠を超えた多機能文化空間を構成しています。



蔵書・コレクション

「シャープ勧告」をまとめた米国の財政学者カール・シャープ博士旧蔵の、図書・雑誌・文書等を集めたシャープ・コレクションや、フランス革命期の政治家・経済学者・思想家として、近代ヨーロッパに巨大な足跡を残したミラボー伯の著作・演説・書簡を集めたミラボー伯コレクションなどの貴重なコレクションを含め、2館で127万冊の資料を所蔵しています。



サービス

収集した資料の閲覧・貸出・複写サービスの提供に加え、神奈川県内の公共図書館をはじめとする他機関資料の取り寄せサービスを提供しています。また、所蔵調査や事項調査をはじめとするレファレンスサービス、レポートの書き方や勉強の仕方のアドバイスを担当するラーニングアドバイザー、図書館ツアーやデータベース講習会をはじめとする情報リテラシー教育など、本学の学習・教育・研究活動のサポートを行っています。

沿革 History

- 1949

 - 1949.5 国立学校設置法による横浜国立大学の設置により、附属図書館が設置された。
 - 1949.10 学芸学部分館（1966.4に教育学部分館に改称）、経済学部分館及び工学部分館が設置された。
- 1974

 - 1950.3 附属図書館規則を制定した。
 - 1964.5 工学部分館が大岡地区に竣工した。
 - 1972.4 横浜国立大学附属図書館運営委員会を設置した。
 - 1974.6 中央図書館が常盤台地区に竣工（RC4F 3,957㎡）した。経済学部分館が経済学部研究棟内に竣工（RC2F 1,290㎡）した。
- 1981

 - 1974.9 本館、教育学部分館及び経済学部分館が常盤台地区に移転した。
 - 1976.4 附属図書館規則の全面改正に伴い、各分館を廃止。教育分室、経済・経営分室及び工学分室を設置した。
 - 1979.3 工学分室が常盤台地区に竣工（1,930㎡）した。
 - 1981.4 附属図書館規程を一部改正し、従来の中央図書館及び各分室を、中央図書館（教育学・人文科学研究フロアを含む。）、社会科学系研究図書館及び理工学系研究図書館に改めた。
- 2000

 - 1985.7 中央図書館2号館増築工事（3,492㎡）が竣工した。
 - 2000.3 「附属図書館のトータルデザインに関する調査研究プロジェクト」（平成11年度実施）報告書を学長に提出した。
 - 2000.11 「横浜国立大学中央図書館施設基本計画」を策定した。
 - 2001.6 中央図書館新営・改修工事が着工された。
 - 2002.11 中央図書館新営・改修工事が竣工（12,231㎡）した。
 - 2003.4 中央図書館がリニューアルオープンした。
- 2013

 - 2006.11 （社会科学系）総合研究棟Ⅰの改修に伴う社会科学系研究図書館の改修工事が着工された。
 - 2007.4 社会科学系研究図書館がリニューアルオープンした。
 - 2008.3 中央図書館のメインカウンターのレイアウトを変更し、エントランスのイメージを刷新した。
 - 2013.11 中央図書館2階にグループ学習エリア（ラーニングcommons）を設置した。
- 2025

 - 2014.3 中央図書館2階のグループ学習エリアの拡充、3階ワーキングスタジオの増設、理工学系研究図書館1階の語学学習室の設置を行った。
 - 2015.12 理工学系研究図書館2階の研究個室が運用開始した。
 - 2019.2 中央図書館2階のグループ学習エリアを拡充した。
 - 2020.3 旧6教室をアクティブラーニング教室へ模様替えした。
 - 2021.3 2階吹き抜け下にパーソナルワークスペースを整備した。
 - 2025.3 理工学系研究図書館の機能を中央図書館及び社会科学系研究図書館に移転した。

2024年度のトピックス

文部科学省「オープンアクセス加速化事業」に採択

本事業を通じて、リポジトリ登録の効率化や非デジタル資料のデジタル化支援機器の導入など、公開基盤の整備を進めました。さらに、図書館の機能移転を通じて支援体制を強化し、専任URAによる勉強会や「研究データ管理・公開支援ナビ」の整備など、人材育成と情報提供の充実などサービス向上を図りました。

オープンアクセス加速化事業の採択機関の決定について

令和6年7月5日
このたび、オープンアクセス加速化事業の採択機関を決定しましたので、お知らせします。

1.事業の趣旨

オープンサイエンスは、論文のオープンアクセスと研究データのオープン化・共有化（オープンデータ）を含む、研究成果の共有・公開を推進する取り組みです。

Wi-Fi アクセスポイントの増設

中央図書館および社会科学系研究図書館のWi-Fi アクセスポイントの新設・増強を実施しました。これにより、今まで不満の多かった館内の通信環境が大きく改善されました（本取組は「オープンアクセス加速化事業」の一環として実施）。



統計 Data

床面積（㎡）	13,406		
閲覧座席数	1,209		
図書館利用者用端末台数	33		
図書所蔵冊数	1,270,949	雑誌所蔵種類数	20,779
電子ブック利用可能種類数	72,919	電子ジャーナル利用可能種類数	14,582
リポジトリ登録数	13,976	リポジトリダウンロード数	889,900
入館者数	465,404		
貸出冊数	46,384		
ガイダンス参加者数	828		

床面積、閲覧座席数、図書館利用者用端末台数は2025年5月1日現在
その他は2025年3月31日現在または2024年度実績